

平成 2 9 年 第 1 1 回

教育委員会臨時会会議録

とき 平成 2 9 年 9 月 2 7 日

品川区教育委員会

平成29年第11回教育委員会臨時会

日 時 平成29年9月27日（水） 開会：午後3時06分
閉会：午後3時32分

場 所 教育委員会室

出席委員 教 育 長 中島 豊
教育長職務代理者 菅谷 正美
委 員 富尾 則子
委 員 海沼 マリ子
委 員 塚田 成四郎

出席理事者 教 育 次 長 本城 善之
庶 務 課 長 品川 義輝
学校計画担当課長 篠田 英夫
学 務 課 長 有馬 勝
指 導 課 長 熊谷 恵子
教育総合支援センター長 大関 浩仁
品川図書館長 横山 莉美子
統括指導主事 山本 修史

事務局職員 庶 務 係 長 小林 則雄
書 記 前田 隼穂
書 記 高下 聖矢

傍 聴 人 数 2名

そ の 他 品川区教育委員会会議規則第14条の規定に基づき、会議の一部を非公開とした。

次第

- 報告事項 1 平成 29 年度前期一般監査の結果について
- 報告事項 2 品川区と東京学芸大学との連携による学習支援事業の現状報告
について
- 報告事項 3 都費教職員の任免等に関する内申について（休職）
- 報告事項 4 平成 29 年度「秋のブックフェア」について
- そ の 他 平成 29 年 10 月の行事予定について

平成29年第11回教育委員会臨時会

平成29年9月27日

【教育長】 ただいまから平成29年第11回教育委員会臨時会を開会いたします。

署名委員に菅谷教育長職務代理、塚田委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

本日は傍聴の方がおられますので、お知らせいたします。

本日の会議の持ち方についてですけれども、日程第1、報告事項3は人事に関する案件ですので、品川区教育委員会会議規則第14条の規定に基づいて非公開の会議といたしますが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

【教育長】 異議なしと認め、本件については、全ての日程の終了後に審議いたします。

それでは、本日の議題に入ります。日程第1、報告事項1 平成29年度前期一般監査の結果について、事務局より説明をお願いいたします。

庶務課長。

【庶務課長】 それでは、私のほうから平成29年度前期一般監査の結果について報告をいたします。

それでは資料の4ページをごらんいただけますでしょうか。4ページ部分につきまして、教育委員会でこの前期監査により指摘をされた部分になってございます。

1番、契約事務についてです。こちらは平成28年11月10日付契約で卒業証書または修了証書の印刷の委託をかけた際に、学校印の印影を本来渡さなければいけなかったはずが、ある1つの学校が校長印を渡してしまったために、その部分につきまして一部刷り直しが発生をいたしました。刷り直しの金額として4万8,000円が刷り直しになっております。監査としましては、履行前に十分確認をすれば、こういうことはなかったというところを指摘されてございます。

続きまして、2番目です。支出事務について。こちらは、いじめ根絶協議会の議事録です。これはテープから議事録を起こすための契約をしているんですが、こちらは当初、年間で契約の委託をしていたんですが、これを事実上、1回1回個別に契約していたということで指摘をされております。下にアからウまで書いておりますが、この3つについて、個別の契約をしてしまったということになっております。本来であれば年間で1回で契約をして済むところだったんですが、個別で別途また契約をし直しているということが発生している部分を指摘されてございます。

続いて3番目です。指定消耗品の管理についてということで、こちらは切手なんですけれども、郵券受払簿というもので切手の枚数を管理をしているものですが、この切手の現物の枚数と郵券の受払簿の枚数が1枚相違をしていたということで指摘をされております。これについては、毎月月末には必ず現枚数と受払簿については確認をしていたんですが、監査の際には1枚相違があったということで、多分どこかのタイミングで切手が1枚戻されて、受払簿のほうの書き忘れがあったものと思います。その部分について指摘をされております。

教育委員会につきましては、以上３点の指摘がございました。私からの説明は以上でございます。

【教育長】 説明が終わりました。今回は教育委員会事務局ということで、学校は監査対象ではなかったという話でございますね。

【庶務課長】 はい。

【教育長】 では、委員の皆様から質疑ございましたらお願いしたいと思います。

【塚田委員】 よろしいですか。

【教育長】 どうぞ、塚田委員。

【塚田委員】 ２番の年間契約があった３つ、ア、イ、ウについては個別契約で、これは余計な出費になっちゃったということですか。それとも、これはこれで出費額としてはいいんですか。

【教育長】 庶務課長。

【庶務課長】 事の回数からしましては、同様の回数になりますので、大きくは変わらないというふうに考えております。

【塚田委員】 了解しました。

【教育長】 ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

【教育長】 契約事務のほう、間違いのないように事務処理をぜひしていただきたいと思いますが、この学校印か校長印かというのは非常に細かい部分で、見間違い要素があると思いますので、１回こういうことがあったということで、今年度実施の際には、ぜひその部分を促していただければと思います。

どうぞ、職務代理。

【菅谷教育長職務代理者】 大きさが違うので、間違いはずないという気はするんですけど。１番のところと３番のところもそうなんだけど、人間のやることで間違いというのは起きるなという感じがしますね。１のところは完全に間違いなんですけど、勘違いというんでしょうね。３のところも何かの勘違いと思うんですけど、「１円たりとも」という言葉があるようにね。どういうふうに間違えたかは、なかなか確証はつかみ切れないと思いますね。人間は間違いやすいなと思います。

【教育長】 そうですね。管理上は、１０円でももっと高額でも同じような管理上のミスということになりますので、ぜひこちらのほうも確認のシステムをもう一度確認していただきたいと思います。

それでは、平成２９年度前期一般監査の結果につきましてはよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

【教育長】 では、本件は終了いたします。

続いて、日程第１の報告事項の２番目、品川区と東京学芸大学との連携による学習支援事業の現状報告について、事務局から説明をお願いいたします。

指導課長。

【指導課長】 それでは、資料２をごらんください。品川区と東京学芸大学との連携の学習支援事業でありますけれども、現在の状況についてご報告したいと思います。

まず１番、支援内容ですが、これまでお伝えしてきたとおり、東京学芸大学の学生によ

る学習支援を行っています。大きく2つの支援がございまして、1つは週2回、月曜日と水曜日の午後4時半から5時40分ですが、タブレット端末を活用したオンラインによる学習支援を行っております。2つ目は、学生、東京学芸大学の教員、附属学校の竹早中学校の教員による対面による学習支援を月1回から2回、土曜日の午後2時から午後4時に行っているところです。学習開催日につきましては、ここに示したとおりです。

2つ目としては進学支援ということで、東京学芸大学附属竹早中学校への進学枠を上限4名設けております。また、進学後も学習支援・進路相談を行っていくことを検討しております。

会場につきましては、教育総合支援センターと品川区立品川図書館の2会場で実施しております。

対象につきましては、ここでは6年生40名、就学援助を受給しているご家庭の児童です。

申込要件は、これまでもご案内したとおり、児童が自己実現に向け、主体的に努力しようとしていること、それから保護者が我が子の自己実現を応援しようとする強い意思を持っていること、選考面接に親子で参加できること、この3点です。

選考面接ですが、先月8月6日、日曜日に実施しました。こちらにつきましては品川区、東京学芸大学、そして附属竹早中学校の三者が面接官として行ったところです。

実際の受講状況ですけれども、応募者数は22名、受講者数は22名ということで、全員合格にしております。

会場の人数の内訳ですけれども、教育総合支援センターが10名、品川図書館が12名ということで、ほぼ半々となっております。

9月2日土曜日にはオリエンテーションを品川図書館で行いました。保護者と児童が全員出席ということで、保護者の関心も非常に高く、東京学芸大学と私どもで説明を行ったところです。

9月4日月曜日、9月6日水曜日、確認テストを実施し、どのぐらいの学力が定着しているのか、国語と算数について検査を行いました。

そして、9月11日からはタブレットを活用し、東京学芸大学の学生さんとの対面学習を行っておりまして、本日で5回目になったところです。

児童の出席状況なんですけれども、現在、体調不良でお休みを1回した児童が1人おりますが、全員出席が続いています。

タブレットの学習状況ですが、全員ヘッドセットを利用して、集中して学習できるような状況にしています。当初はタブレットを使って、児童と学生が1対1で学習する形態を考えていたんですけれども、最初ということもあって、タブレットが珍しくて遊んでしまうお子さんがいたり、1人ではタブレットで学生さんと話ができないお子さんもいたり、また、タブレットだけでは十分に理解ができないお子さんもいたりしましたので、学芸大学からそれぞれの会場に1名ずつ先生がいらしてくださり、学生さんと児童をつなぐ役目をしていただいています。また、学習状況のことや家での様子、そういったことをお話を聞いてもらうような時間もとっているところです。

このようにさまざまな学習形態をとりながら、子供たちの緊張を緩和させて、学習に集中できるような学習環境の工夫に取り組んでいるところであります。最初は子供たちがそ

れぞれ自分の勉強したい教材を持ってきたりしておりましたが、実際にやらせてみると、児童の学力定着度とは異なった、高度な、難易度の高い問題集を持ってくるような傾向が見られましたので、今は学芸大学が準備したプリント学習を行っているところです。その中で、個々の習熟度が見えてきましたので、習熟度に応じたプリント学習を行うようになってきておまして、国語だけではなくて社会もやりたいですとか、算数をもっとやりたい、そういった子供たちのニーズに応じた学習を行い始めたところです。

以上が現状報告であります。私からは以上です。

【教育長】 説明が終わりました。質疑をお願いします。

富尾委員、どうぞ。

【富尾委員】 受講者のお子さんは、男女比はどのぐらいですか。

【教育長】 指導課長。

【指導課長】 男子が10名、女子が12名ということで、ほぼ同数ということになるかと思います。

【富尾委員】 すいません。また違う話ですけれども、体調不良で1名、欠席された方がいるということでしたけれども、振りかえ日とか、そういうのは特に設けたりはないのですか。

【教育長】 指導課長。

【指導課長】 学芸大学との日程調整等もございますので、振りかえ等は特には考えておりません。ただ、1日お休みしてしまったからといっても、それぞれのお子さんによって学習内容が異なりますので、合わせた内容で行っていきたいと思っています。

【富尾委員】 ありがとうございます。

【教育長】 ほかにいかがでしょうか。職務代理、どうぞ。

【菅谷教育長職務代理者】 6年生が竹早中学に進学の可能性があるというところで、どういう選考をこれからされるのかな、ということが気になりまして。いわゆる学習困難者ではなくて、いろんな意味で就学の部分で困難を抱えていて、国立大学の附属へ行って勉強したいという意思のある人が選ばれると思いますが、普通の中学受験とはちょっと違う要素があるかと思います。その辺は連携ですから、私どもの思いだけでなく、大学の思いもあるし、附属中学の思いもあるので、そこで煮詰められていくことだと思うのですね。なかなか国立大学と、このような形で入学までの形はあまり聞いたことがないものですから。まだ決まっていないかもしれませんが、できたらわかる範囲で教えてください。

【教育長】 指導課長。

【指導課長】 今お話があったとおり、単なるペーパーによる学力だけで判断しないというふうに聞いております。そのために、竹早中学校の先生方が土曜日の対面プログラムにいらして下さって、竹早中で行うような、学習内容を実際に取り入れた授業を行ってくださることになっています。例えば点描写という、生物や植物、また図鑑などを見ながら点で絵を描いていくような、学習に根気よく取り組む姿勢や絵画プログラムの様子などを見ることを通して、竹早中学校の教育方針に沿ったお子さんを採りたいという考えがあります。その中で、希望者には竹早中学校の入学試験説明会や文化祭に参加していただくことで竹早中学校が求めている子供と、子供たちの入りたいという思いと合致したお子さんを選んでいきたいと考えていると聞いております。

【教育長】 学力偏重ではないということなんですね。

【指導課長】 はい。

【教育長】 私どもの説明のときには、6年生卒業段階での子供たちの中学進学に向けてのモチベーションを高めていきたいという思いを持っているということはありません。

そのほか、いかがでございますか。ないようでしたら、私のほうから1つ。タブレット端末を使ったオンラインによる学習支援の会場で、ネットワークトラブルですとかシステムトラブルみたいなものは特にないのでしょうか。

指導課長。

【指導課長】 これまでトラブルがあったという話は聞いておりません。最初はヘッドセットを使わずに学習を行っていたので、ほかの音が入ってしまってやりづらかったということがありましたので、2回目以降はヘッドセットを用いております。その後は、一切トラブルはございません。以上です。

【教育長】 いい環境で学びができているということは大変うれしいことだと思います。

それでは、品川区と東京学芸大学との連携による学習支援事業の現状報告につきまして、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【教育長】 では、本件は終了いたします。

次は日程第1の報告事項4 平成29年度「秋のブックフェア」について、説明をお願いいたします。

図書館長。

【品川図書館長】 では、私からは平成29年度「秋のブックフェア」についてご案内申し上げます。

資料4をごらんください。図書館では、読書の奨励と利用促進を目的に、「秋のブックフェア」と称して次の事業を実施しております。

1点目として、品川図書館で秋の講演会を行います。エッセイストで元NHKアナウンサーの山川静夫氏を講師にお招きし、「ぼくのアナウンサー人生」と題した講演会を一般財団法人六行会と共催で開催いたします。日時は平成29年10月21日土曜日午後2時から、場所は六行会ホールにて行います。定員は250名、周知方法は広報しながわ掲載及びホームページ、ポスター、チラシで周知いたします。

2点目といたしまして、例年行っております「秋の子ども読書の日フェア」でございます。子供の読書活動の普及・啓発を図るため、「秋の子ども読書の日フェア」を実施いたします。期間は平成29年10月1日日曜日から31日火曜日まででございます。全図書館でのブックフェア及び10月29日日曜日は五反田文化センターで映画会・人形劇・おはなし会・科学工作遊び等を行います。周知方法は広報しながわ、10月統合チラシ、ホームページ、ポスター、チラシで周知いたします。

ご報告は以上です。

【教育長】 説明が終わりました。質疑があればお願いいたします。

特にございませんでしょうか。10月21日の土曜日が講演会ということですね。この日は、品川図書館では先ほどの学芸大学との連携プロジェクトも14時からやっているということで、近くの東海中学では周年行事もあるということで、なかなかにぎやかな状況

かなとは思いますが。

それでは、質疑がないようでございますので、平成２９年度「秋のブックフェア」につきまして、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

【教育長】 本件は終了いたします。

次は日程第２、その他に移ります。平成２９年１０月の行事予定について、説明をお願いいたします。

庶務課長。

【庶務課長】 それでは、私から平成２９年１０月の行事予定についてご説明をいたします。まず、１０月１０日火曜日でございます。１４時から教育委員会事務局定例会となっておりますが、こちら、決算特別委員会と重複をしてしまうために、１０月１７日１５時からと日程の変更をさせていただきたいと考えております。また、その日に１３時から学校訪問を行いたいと思っております。学校は、鈴ヶ森中学校に海沼委員と塚田委員、荏原第六中学校に菅谷委員と富尾委員でお願いしたいと考えております。

続きまして、１０月２１日土曜日でございます。１０時から東海中学校７０周年記念行事、それから１０時半から荏原第五中学校７０周年行事がございます。東海中学校につきましては、教育長、海沼委員のご参加をお願いしたいと考えております。荏原第五中学校につきましては、菅谷委員、塚田委員の参加をお願いしたいと考えてございます。

続きまして、１０月２４日火曜日です。１４時から教育委員会定例会のほうを行わせていただきます。

それから、１０月２８日土曜日ですが、こちらは１０時から荏原第一中学校７０周年行事がございます。教育長、富尾委員、塚田委員のご参加をお願いしたいと考えております。

私からの説明は以上でございます。

【教育長】 説明が終わりました。何かご質問はございますか。

いよいよ、新制中学７０周年の式典がダブル開催ということで始まってまいりますので、どうぞ委員の皆様、よろしくお願いいたします。

ご意見がないようであれば、平成２９年１０月の行事予定につきましてはこれでよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

【教育長】 では、本件は終了いたします。

その他、ございますでしょうか。

【庶務課長】 特にございません。

【教育長】 それでは、先ほど決定いたしましたとおり、非公開の会議に移りたいと思いますので、傍聴の方はご退室願います。

（傍聴者退席）